

5. 眺望景観の保全及び活用の方針

景観形成の目標や基本方針を踏まえ、眺望景観の保全及び活用の方針は以下のとおりとする。

【共通事項】

- ・視点場からの眺望景観をできるだけ阻害しないように、周辺の建物の配置や形態等を工夫する。
- ・眺望に含まれる部分に立地する建築物・工作物等は、その設備等が眺望景観を阻害しないように、できるだけ修景するなど配慮する。
- ・視点場及びその周辺等を整備するなどして、眺望景観をより多くの人が気軽に楽しむことができるようにする。

【視点場別事項】

熱海港埋立地

熱海港埋立地の広場付近から、熱海地区の市街地景観や周辺斜面緑地への眺望景観を保全するとともに、岩戸山（標高約 730m）を始めとする尾根のスカイラインを隠さないようにする。



熱海城前広場

熱海城前の広場(標高約 120m)から、眼下に広がる熱海港の海と熱海地区の市街地、その市街地を囲む丘陵地の関係が認識できる眺望を守る。



MOA美術館

MOA美術館前の広場（標高約 250m）から、熱海港を中心とした相模灘への眺望を守る。



熱海港防波堤

熱海港の防波堤から、熱海地区の市街地景観や周辺斜面緑地への眺望景観を保全するとともに、岩戸山（標高約 730m）をはじめとする尾根のスカイラインを隠さないようにする。



小山臨海公園

小山臨海公園の海岸沿いから、多賀地域の市街地景観や周辺斜面緑地、網代港周辺への眺望景観を保全するとともに、それらの後背にある尾根のスカイラインを隠さないようにする。



岩戸山

岩戸山の山頂（標高約 730m）から、熱海地区の市街地や周辺の斜面緑地、相模湾と初島などが眺められる眺望を保全するとともに積極的に活用する。

十国峠

十国峠（標高約 770m）から、周辺の山並みや斜面緑地、相模湾などが眺められる眺望景観を保全するとともに積極的に活用する。

鷹ノ巣山

伊豆スカイライン及び沿道の展望広場（標高約 650m）から、熱海地区市街地や岩戸山を始めとする尾根線や斜面緑地、相模湾と初島などが眺められる眺望を保全・活用する。

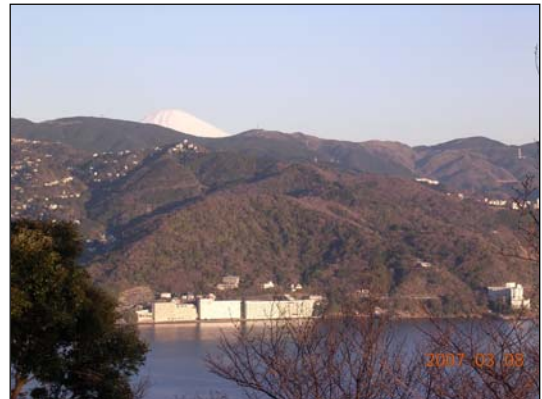


玄岳

伊豆スカイライン及び沿道の展望広場から、熱海地区市街地や岩戸山を始めとする尾根線や斜面緑地、相模湾と初島などが眺められる眺望を保全・活用する。

朝日山

網代地区の背後の丘陵地にある公園であり、初島への良好な眺望が得られる場所である。また、好天時には、富士山も眺められる。視点場としてより活用されるよう、工夫を行う事が重要となる。



林道中野線

下多賀中野地区から伊東亀石峠へつながる林道であり、長浜海岸や周辺のまちなみが一望できる場所がある。この良好な眺望景観を保全し、活用する。



桜の名所散策路

伊豆多賀駅から熱海高校周辺にかけて整備が行われている散策路であり、途中には南熱海地区の市街地が一望できる場所がある。この良好な眺望景観を保全するとともに、これを活用するため、案内サイン等を充実させるなど、市民への周知を行っていく。



網代測候所周辺

網代地区の後背の急傾斜の斜面上にある場所であり、南熱海の海と海を囲む市街地、斜面緑地の構造を間近で一望することができる。好天時には、真鶴半島まで眺めることができる。この眺望景観を保全するよう努める。



頼朝ライン

海に向かって建てられている建築物が多い熱海地区の市街地を横から眺めることができる場所である。この眺望景観を保全するとともに、視点場としての活用を図っていくこととする。



国道 135 号

伊豆半島の東側の市街地を南北に結んでおり、熱海市の主要な都市活動軸である、国道 135 号からの眺望に関し、海への眺望を保全するとともに、市街地の入口となる部分から、市街地方面への眺望（ビスタ景観）を守る。



熱海ビーチライン

海に沿って道路が設置されており、広々と海を遠くまで眺めることができる。このため、ビーチラインからの良好な眺望景観を守る。

J R 東海道線・東海道新幹線

熱海駅と丹那トンネルの間には、熱海地区の市街地と熱海港の海及び錦ヶ浦付近の斜面緑地が一体に眺められる区間があり、乗客が熱海に来たことを強く感じられる風景となっている。この眺望景観を阻害しないように、建物の配置・形態や屋根・屋上設備等のつくり方に配慮する。



J R 伊東線

多賀地区の市街地の背後の高台を鉄道が通っており、低層市街地越しに海への眺望が得られるため、この良好な眺望景観を保全する。

